

日中サービス支援型共同生活援助 吉備路（GH 吉備路）

令和 7 年度 地域連携推進会議 議事録

1. 日 時：令和 7 年 8 月 2 0 日（水） 1 0：0 0～1 0：4 5

2. 場 所：日中サービス支援型共同生活援助吉備路 多目的室

3. 参加者：木村すみ子（利用者）、須増隆仁（吉備信用金庫地域サポート部長）、

岡英樹（総社市三須長寿会）、藤井信一（GH 吉備路管理者代理）、

欠席：福澤紀久夫（利用者保護者）、小野玲子（総社市役所保健福祉部福祉課長）

4. 進行・記録：藤井（GH 吉備路）

5. 内容

（1）開催挨拶

・本日はご出席いただきありがとうございます。

地域連携推進会議は、施設と地域の連携や利用者と地域の関係づくりを目的に始まりました。ぜひ、皆様の日ごろ思いやご意見を自由に発信して頂き、短い時間ですが、有意義なものにしたいと思っています。

はじめに、いくつか注意点をお話しさせていただきます。

・会議内で知り得た情報の秘密保持について

本日の会議で知った個人情報等については、外部に漏らすことが名用にご配慮下さい。

・会議の議事録の扱いについて

会議終了後に議事録を作成し公表することが義務付けられています。議事録の内容について、公表前に皆様の発言の内容について同意を頂くため、皆様に内容の確認をお願いしますのでご協力をお願いします。

(2) 自己紹介

(3) 事業所紹介

- ・パンフレットを用いて、事業所の様子を説明する。

(4) 施設見学

(5) 意見交換

【施設見学、意見交換で出た内容】

- ・利用者の日中はどのように過ごされているか。
→個々の生活様式やニーズに沿った支援を提供。趣味嗜好に合わせた余暇の提供、買い物や外出の機会を設け地域資源を活用しながら充実した生活を送れるように支援を行っている。
趣味で作成した作品などは、ご本人の達成感や生きがいとなるように施設内で展示し他者へ披露する機会を設けている。
利用者ごとに個室を完備し、プライバシーに配慮できる空間づくりを行っている。
- ・利用者の金銭管理についてはどのような方法で行っているか。
→保護者から預かり金としてお金を預かり、事務で管理している。利用者ごとに必要に応じて金銭が使用できるように利用者と支援員で相談しながら適切に使用できるようにしている。
- ・職員はどういった配置状況か。
→事務職、看護師、栄養士、生活支援員で生活全般において支援が滞りなく行えるように配置している。
生活支援員について、正規職員はローテーション制で、3交代制で配置。日中の時間帯は非正規職員を配置。利用者の個々のニーズに応じやすいように手厚く支援を行えるように配置している。
- ・今後の展開について
→地域の為に開かれた場となるように情報発信を行ったり、交流が出来る場を積極的に設けていきたい。

以上で定刻を迎える。